

処分場ではない。ここはリサイクル工場。

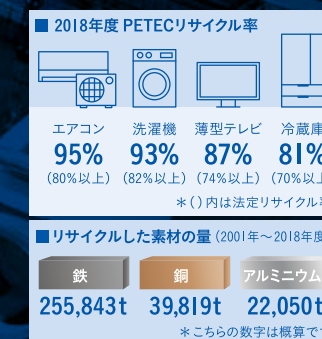
兵庫県加東市にあるリサイクル工場、パナソニック エコテクノロジーセンター (PETEC)。
 役目を終えたテレビ・冷蔵庫・エアコン・洗濯機の
 4家電を解体・選別し、実に80%以上を資源へと再生している。

大量生産が、大量廃棄であってはいけない。

いま、地球規模で、資源の損失や環境破壊の原因とされている、工業製品の廃棄問題。その中で、廃家電は貴金属や樹脂などの素材を含む「都市鉱山」として注目され、回収とリサイクルへの期待が高まっています。そして設立されたのが、PETEC。メーカー100%出資で、4家電の高い資源再生率を誇るリサイクル工場です。

資源循環型モノづくりで、持続可能な社会へ。

PETECの合言葉は「商品から商品へ」。使用済み家電は倉庫で保管、まるで製造工場のような独自開発のラインで資源へと再生されます。また、4家電の開発部門と協力して、リサイクル率の高いモノづくりも推進。実に80%以上が資源に生まれ変わり、パナソニックの家電や建材などの商品にも利用されています。



機械で対応できない部分は、手作業で解体・分別していく



両側からの作業により、安全性と効率を高めている解体作業ライン



エアコン室内機の部品を手作業で取り外している

持続可能な社会と暮らしへ

パナソニックの資源循環テクノロジー